

stage

演劇空間スペースベン

自分という敵

〈文/テアトロ・ベール 山田景子〉

ここを読んでいる人の中に、本当に何かを変えようとしている人が何人いる？

仲間が好きなだけで、人に迷惑をかけている事に気づかない人が何人いる？

一人になる時間に、くやし涙を流せる人が何人いる？

自分のトイレを掃除している人が何人いる？

離れて住んでいるばあちゃんに手紙を書いた人が何人いる？

毎月引かれている所得税がいくらか知っている？

八戸市の財政について書かれている広報はちのへを読んだ？

その意味がわかる？

わからないのに年金払ってないのに文句つけてる奴はいないか？

暴走族きどっておまわりに「税金ドロボー」と言いながら、ぶつかって救急車に運ばれる矛盾をどう考える？

自分が一年間にする排せつ物の量とその行く先について考えた事がある人がいますか？

そんな人いないと思うし、いても何か気持ちが悪い。

私達は毎日もっと違うことを考えて生活している。

そして、そのあい間に、いろいろな事に対して、感動したり怒ったりする。

それはいい。私が本当に嫌なのは、やれる人がやる事をやらないで人の事を言うのが嫌なのだ。

例えば今の私。こんなじわるな文章をかく事よりも、明日の仕事の段取りを立てなければ、迷惑をかける。

大衆に向かって、「何かを変えようとしているか？」

「何かを変えようとしているか？」

と問う前に、自分の給料が上がるための努力をしているか？

と問うべきである。

不景気をなげく前に、その仕組みを解体するべきである。

今の八戸を不満に思う前に、自分の両親の仕事を知るべきである。

ひと昔前なら、危険な人物になっただけかもしれない内容の思想。昔の方が、それが危険と見抜ける知性ある人間がいた事だけでも、今より進歩的だったかもしれない。

目標のない努力が無駄な事は知っていてもその目標が、敗者を増やす事なら尚無駄だという

事には気づかない。

人は、勝つために生きているのではなく、勝っているから生きていくのだ。

そんな事知ってる人ばかりだ。私達は、誰にもいまいようには生きていけない。そういう風にしか立ってられないのだ。

ただ思う。他人を傷つける権利は誰にもない。

今、周りにいる人、大切な人。本当に自分がしてあげられる事。

してもらっている事。相手を認める事。

認めてもらう努力をする事。本当の敵は何か、それを、慎重に見極める事。

残された時間に敏感になる事。自分のトイレを掃除して、ばあちゃんに手紙を書くこと。所得税の金額を知り、それがどの位、八戸を支えているのか知る事。

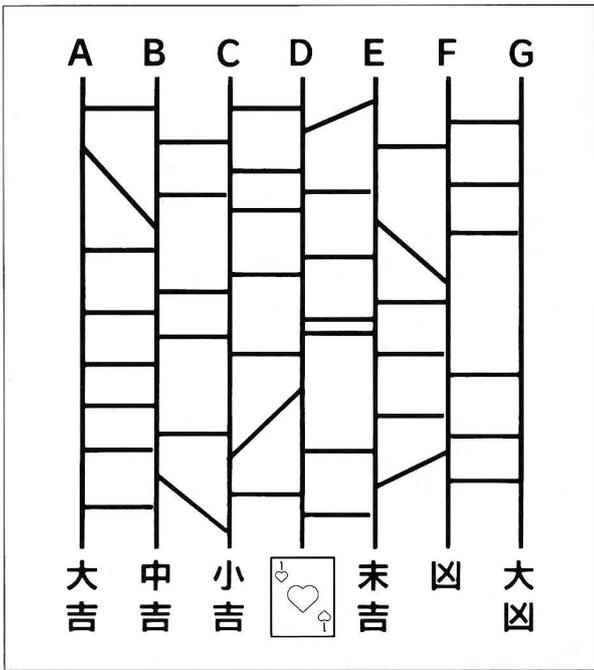
そして、怒りをもつ事。何かを変えなければいけないのか。

最もやっかいなのは、国でも法律でも誰でもなく、自分という敵である事。

べんさん、こんな感じでしょうか。

ちょっとワケわかんなくなっただけど、このまま載せてもらいますね。

山田



2月のFriday Amusement Negative Shop

※全て午後7時30分～、料金500円
※チケットはスペースベンにて販売

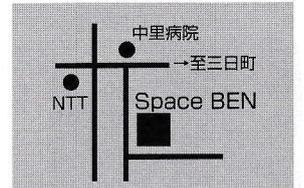
- 4日(第313回)
- 11日(第314回)
- 18日(第315回)
- 25日(第316回)

テアトロ・ベール公演「zok2」 脚本：山田景子、出演：田中勉、山田景子、安達良春
※4、11、18日は未定。「FANSプレゼンツビデオ上映会」の予定

週替わりで、
おもしろい企画
満載です。

FANSの番組につきましては、デーリー東北の「あすのメモ」「きょうのメモ」欄でご確認下さい。

FANSでは、役者、スタッフ、その他何でも、何かを表現してみたい人を募集しています。ご遠慮なく、ご連絡下さい。



Space BEN 八戸市柏崎1-11-8
☎FAX 43-9876
駐車場はございませんので、車でのご来場はご遠慮下さい。(近くに西町書店駐車場有り)